

日本農村カデザイン大学 11月学期

風土を活かすまちづくり

～外の若者力、内の農村力のまちづくり～

11月学期では、若い力や新しい力が地域と関わって、どのような新しい「活力」が地域にうまれていくのかを学びます。農村力の土台となる「地域」に根付いて、農村力を活かす・形にしていく多様な可能性、外の力・新しい力との協働について考えます。

■日程

平成20年11月22日（土）13:30 ～ 11月24日（祝）13:00

■場所

福井市オレボビズスクール
池田町能楽の里文化交流会館
ファームハウス・コムニタ（夕食・宿泊場所）

■スケジュール

1日目 風の課「社会を支える事業を創る ～地域密着型コンビニビジネスの起業～」
（株）大津屋社長 小川 明彦 氏
※福井市高木のオレボビズスクール（福井市）にて開催
<http://www.orebo.jp/>

（池田町へ移動）

人の課「夕食交流会」（ファームハウス・コムニタ）

2日目 土の課「どっぽ村プロジェクトの魅力」
（滋賀県どっぽ村プロジェクト 村上悟氏）
（昼 食）
風の課「農村力で支える地域・社会」
（現代農業編集主幹甲斐良治氏）
人の課「夕食交流会」（ファームハウス・コムニタ）

3日目 美の課「地域に関わる、地域をかえる」（車座ディスカッション）
～私の農村力農村力が社会地域をささえる農村力～

■受講料

定員まで聴講生を募集します。料金は15,000円です。

1日のみの受講は、1日5,000円です。

■申込先

910-2524 福井県今立郡池田町稲荷35-2-1

日本農村力デザイン大学事務局

電話 0778-44-8100 FAX 0778-44-7771 mail ikeda@c-nord.com

【甲斐 良治（かい りょうじ）さんのプロフィール】

宮崎県生まれ。（社）農山漁村文化協会勤務。「増刊現代農業」編集主幹。「定年帰農 6万人の人生二毛作」「帰農時代 むらの元気で「不況」を超える」「青年帰農 ～若者たちの新しい生き方～」などを手がける。さまざまな分野で起きている「農とむらの原理」（自立と相互扶助、循環性・多様性・関係性）による「生き方の社会変革」の動きを発掘し、発信し続けている。

11月学期申込書（FAX：0778-44-7771）

■お名前（）

■ご住所（〒）

■連絡先（携帯・TEL FAX ）

■池田町への来町（電車／自家用車）

■出席の状況

1日目 講義（出／欠）

集合時間と方法（○をつけてください）

現地13：00／福井駅12：30

／エルパ（福井市大和田）12：30

夕食（要／不要）

宿泊（要／不要） 朝食（要／不要）

2日目 実習（午前中）（出／欠）

昼食（要／不要）

講義（午後）（出／欠）

夕食（要／不要）

宿泊（要／不要） 朝食（要／不要）

3日目 講義（出／欠）

昼食（要／不要）